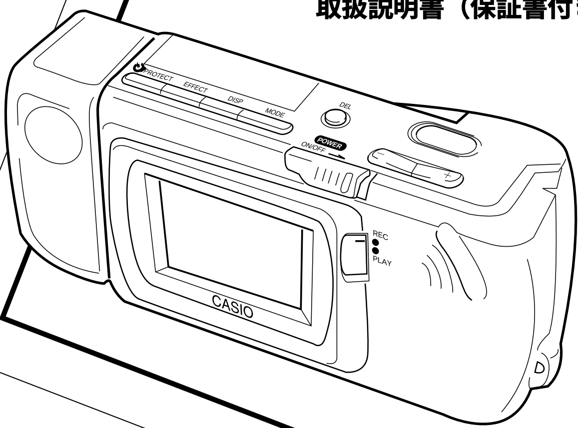
P Zy

液晶デジタルカメラ

QV-100

取扱説明書（保証書付き）



ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。

本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、本書の「安全上のご注意」をお読みください。本書は、お読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。

絵表示の例

分解禁止	◯ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。
プラグを抜く	● 記号は「しなければならないこと」を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

ＡＣアダプター（別売品）ご使用時

禁止

- 表示された電源電圧（ＡＣ１００Ｖ）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります（ＡＣアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ＡＣアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- ＡＣアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

ＡＣアダプター（別売品）ご使用時

禁止

- 濡れた手でＡＣアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- 万一ＡＣアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

移動しながら撮影しないでください

禁止

- 自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、モニターを見ないでください。転倒、交通事故の原因になります。

分解・改造しないでください

分解禁止

- 本機のケースを開けて分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店またはカシオサービスセンターにご依頼ください。

水などがかからないようにしてください

水場での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺、風呂場での使用は特にご注意ください。

プラグを抜く

- 万一、異物や水が本機の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、ＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

異常状態で使用しないでください。

プラグを抜く

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、必ずＡＣアダプターをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

落としたり、破損したときは

プラグを抜く

- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、ＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

持ち運びのとき

禁止

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

禁止

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

注意

バックアップについて

注意

- 本機への物理的な損傷や事故などにより、撮影した内容が消失することがあります。本機で撮影した内容は、ビデオやパソコンに転送してバックアップとして保管することをお勧めいたします。

撮影内容の保護について

禁止

- 撮影中、画面に"WAIT"の表示が出ている間に、電池ケースのフタを開けることは、絶対におやめください。画面に"WAIT"が表示されている間に誤って電池ケースのフタを開けてしまうと、今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。

設置場所について

禁止

- （ぐらついた台の上や傾いた所など）不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。高熱によりキャビネット等が過熱・変形する原因となることがあります。

ＡＣアダプターの取り扱いについて

禁止

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは必ずＡＣアダプターの本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

注意

ACアダプターの取り扱いについて

注意

- ＡＣアダプター本体はコンセントの奥まで確実に挿入してください。正しく挿入されないと火災や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かないでください

禁止

- 重いものを置くと、置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

液晶パネルの取り扱いについて

禁止

- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。
  - 万一口に入った場合はすぐにうがいをして医師に相談してください。
  - 目に入ったり、皮膚に付着した場合は清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

■あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機のビデオ出力は、日本やアメリカなどで標準的なNTSC方式になっています。ヨーロッパなどのPAL方式や他の方式のテレビ、ビデオ機器では正常に表示されませんのでご注意ください。

この装置は、第２種情報装置（住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ他社の商標です：

Windowsは米マイクロソフト社の商標です。

AppleおよびMacintoshは米アップルコンピューター社の商標です。

その他のご注意

データエラーについて

本製品は精密な電子部品で構成されており、以下の様なお取り扱いをすると内部のデータが破壊する恐れがあります。

- 記録、通信中に電池をはずしたり、ＡＣアダプターをはずした時
- 電池警告マーク表示中の撮影、通信中のケーブルはずれ
- その他の異常操作

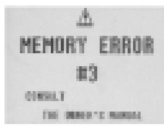
この様な場合カメラの操作ができなくなり、次の表示がでてきましたら、速やかに最寄りのカシオサービスセンターへご連絡ください。



メモリーエラー#1画面



メモリーエラー#2画面



メモリーエラー#3画面

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、０℃～４０℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所。
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所。
  - 日中の車内、振動の多い場所。

結露について

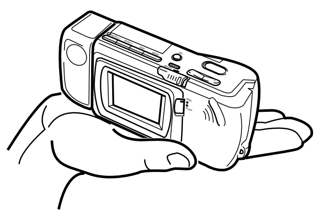
- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋に入れて密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出してください。なお結露してしまった場合は、本機から電池を取り出して、電池フタを開けたまま数時間放置してください。

目次

本機の特徴

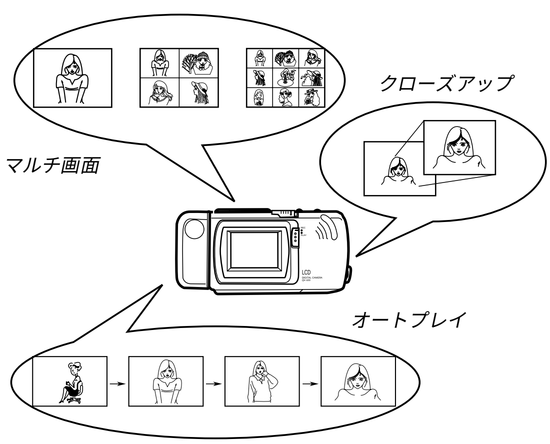
携帯性にすぐれた小型・軽量サイズ

モニター一体型でのコンパクトカメラサイズを実現しました。



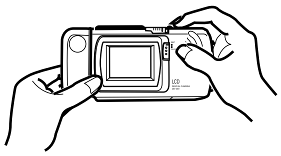
多彩な表示機能を搭載

一度に複数画面を一覧するマルチ画面表示、ディテール確認のためのクローズアップ機能、撮影した画像を自動的に次々と表示するオートプレイ機能など、さまざまな表示機能を搭載しています。



ファインダーを覗かず撮影→即画面で確認できる

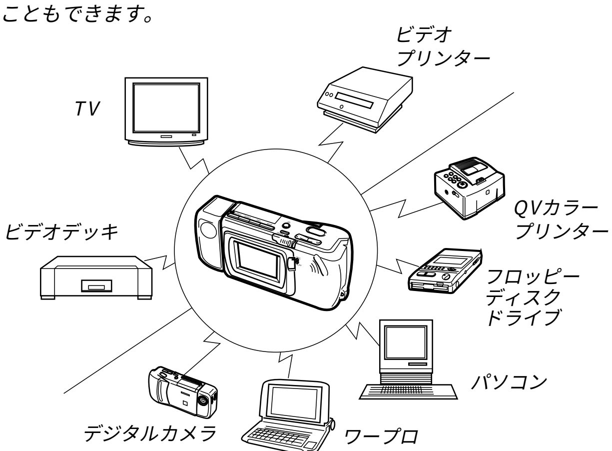
高画質ＴＦＴ方式の液晶画面は、明るい所でも見やすい低反射方式のものを採用しています。





ビデオ出力／デジタル転送機能でパワーアップ

ビデオ出力機能を使えば、大画面テレビにつないでプレゼンテーションに活用することができます。また、撮影画像をパソコンや専用フロッピーディスクドライブにデジタルデータとして転送し保存、編集したり、逆にパソコン上の画像を本機に転送して持ち運ぶこともできます。

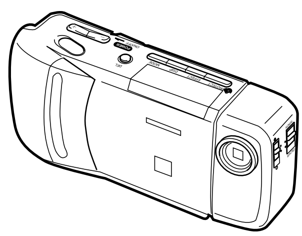


はじめに

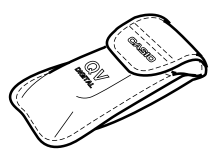
ここでは、本機をお使いになる前の付属品の確認、各部の名称、電源について説明しています。また、ごく基本的な操作だけをまとめた「使いかた早分かり」、本機の機能が一覧できる「機能早見表」を含んでいます。

付属品の確認

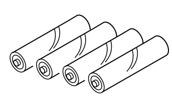
箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。



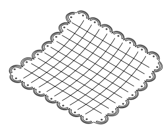
デジタルカメラ本体



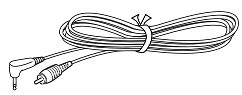
ソフトケース



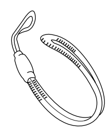
アルカリ電池（単3x 4）



クロス

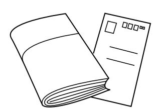


専用ビデオコード



ストラップ

- 本体への取付けかたは、18ページをご参照ください。

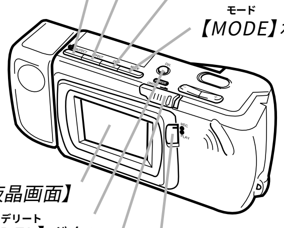


取扱説明書（保証書付き）
アンケートカード

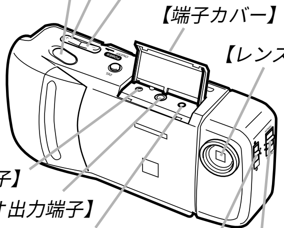
各部の名称

この取扱説明書中では、本機の各部の名称は以下の【　】内の呼びかたを使います。スイッチやボタンの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

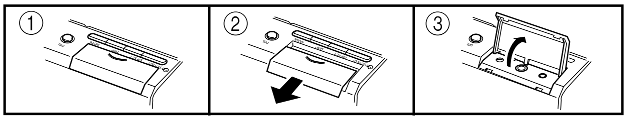
後面部



前面部



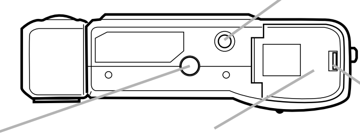
端子カバーの開きかた



重要！

端子カバーは、上記イラストの②で、完全に手前に引き出した状態で上に開いてください。無理な力を加えると破損のおそれがあります。

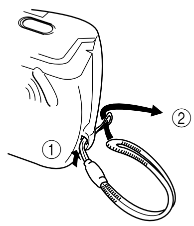
底面部



- 液晶画面の明るさを調節するのに使うためのボリュームです。本機の工場出荷時に、もっとも適切な位置に設定されており、調節の必要はありません。

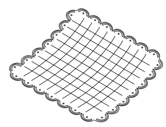
ストラップの取付けかた

ストラップは、図のようにストラップ穴に通し、しっかりとひっぱります。



クロスの使いかた

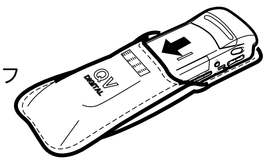
液晶画面やレンズに指紋が付いたり、曇ったりした際には、付属のクロスで拭いてください。ゴミやホコリを軽くはらってから、軽く拭くようにしてください。



- 液晶画面は強く押さないでください。にじみが定着し、正常に映らなくなったり、割れたりする恐れがあります。

ソフトケースの使いかた

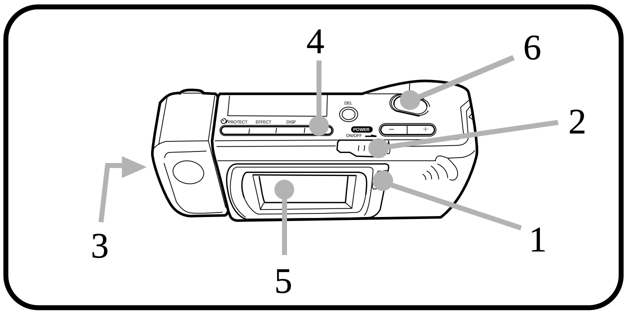
ご使用にならない時は、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。



使いかた早分かり

■ 撮影するには

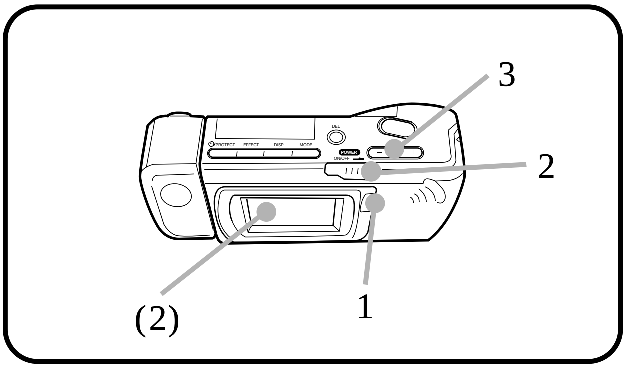
＊操作の前に、付属の電池をセットしてください（26ページ）。



1. **【ファンクションスイッチ】を[REC]に合わせます。**
2. **【電源スイッチ】を右方向にスライドさせ、電源を入れます。**
   ＊ *電源を切るには、もう一度右方向にスライドさせてください。*
3. **【標準／接写切替スイッチ】を[NORMAL]の位置に合わせます。**
   ＊ *接写の場合は[MACRO]の位置が適しています。標準／接写切替についての説明は、37ページを参照してください。*
4. **撮影する画質モードを【MODE】ボタンを押して選択します。**
   ＊ *本機はFINEモード（F と表示）で64枚、NORMALモード（N と表示）で192枚まで撮影できます（途中で画質モードの切替可能）。*
   ＊ *FINEモードでは、NORMALモードより精細な画質になります。*
5. **画面を見ながら、ゆっくりと被写体にフレームを合わせます。**
6. **【シャッター】ボタンを押します。**
   ＊ *画面上に"WAIT"と表示され、約６秒間、今撮影した映像が表示されたままになります。約６秒後に画面が元に戻ると、引き続き撮影ができます。*

■ 撮影した内容を見るには

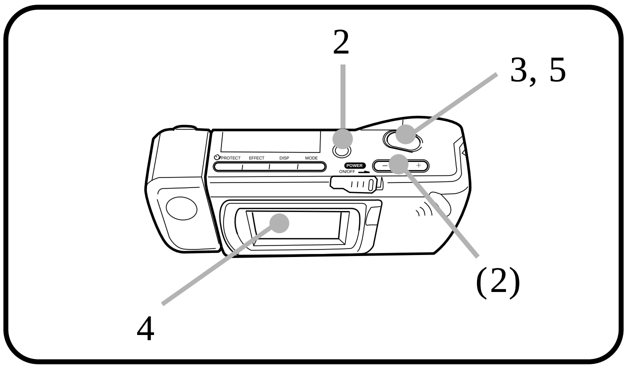
本機の液晶画面に、撮影した内容を表示させることができます。



1. **【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置に合わせます。**
2. **【電源スイッチ】を右方向にスライドさせ、電源を入れます。**
   (2) 画面に撮影内容が表示されます。
   ＊ *電源を切るには、もう一度右方向にスライドさせてください。*
3. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押すと、撮影内容の送り／戻しができます。**
   ＊ *本機の液晶画面上では、FINEモードと、NORMALモードの画質の差は変わりません。*

■ いらないページを削除するには

いらないページを削除すると、その分再度撮影ができます。



1. **削除したい画面を表示させます（前ページ参照）。**
2. **【DEL】ボタンを押します。**
   ＊ 以下は画面に表示されるガイドに沿って操作できます。
   (2)【＋】ボタンまたは【－】ボタンを使って“ PAGE ”を指定します。
3. **【シャッター】ボタンを押します。**
4. **現在表示されている画面が間違いなく削除したい画面であることを確認してください。**
   ＊ 削除を中止したい場合は、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押してください。
5. **表示中の画面を削除するには、【シャッター】ボタンを押します。**
6. **削除の操作を終了するには、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押します。**

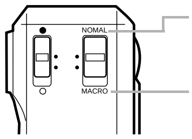
機能早見表

■ 撮影操作中にできること

撮影操作中には、撮影に関するいくつかの調節が行なえます。

標準／接写切り替え（→37ページ）

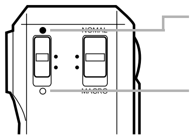
被写体までの距離に応じて、２通りの切り替えができます。



- NORMAL
  風景や人物などの撮影に適しています。
- MACRO
  接写に適しています。

絞りの切り替え（→39ページ）

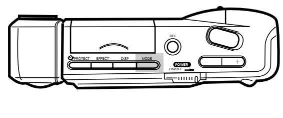
撮影する場所の明るさに応じて、２通りの切り替えができます。



- ●光量を減らす
  画面に“ ● ”が表示されるときに合わせる。
- ○光量を増やす
  画面に“ ○ ”が表示されるときに合わせる。

画質モードの切り替え（→37ページ）

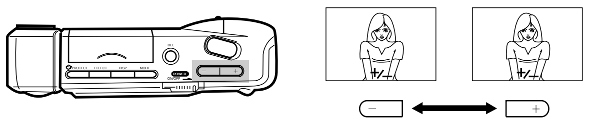
保存する画質に応じて、２通りの切り替えができます（途中で画質モードの切替可能）。保存枚数は、FINEモードで64枚、NORMALモードで192枚です。



- FINEモード“ F ”
  FINE（精細）の画像で保存する（約480kbit圧縮画像）。
- NORMALモード“ N ”
  NORMAL（標準）の画像で保存する（約160kbit圧縮画像）。

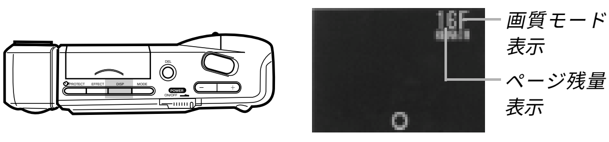
露出補正（EVシフト→38ページ）

本機は自動露出（絞り優先AE）を行なっていますが、画面を見ながら好みに応じて調節もできます。



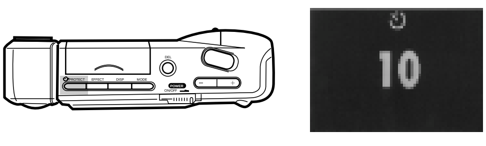
ページ残量／撮影画質モード表示（→40ページ）

あと何枚撮影できるかと、保存する画質モードを表示できます。



セルフタイマー撮影（→43ページ）

ボタンを押してから１０秒後に撮影することができます。

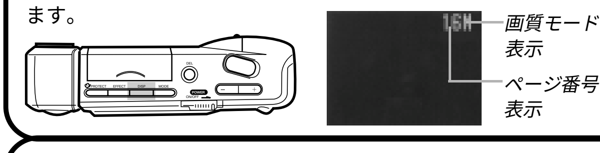


■ 再生操作中にできること

再生操作には、さまざまなバリエーションがあります。

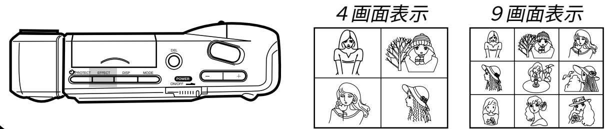
ページ情報表示（→46ページ）

表示中の画面のページ番号、プロテクト、画質モードの表示ができます。



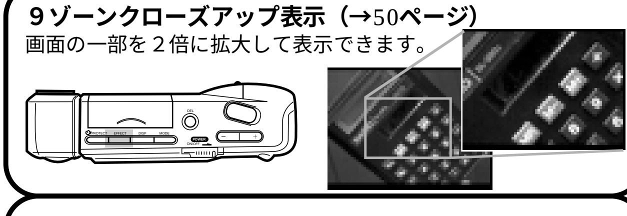
マルチ画面表示（→47ページ）

一画面に４画面・９画面の表示ができます。



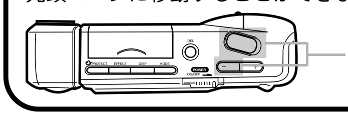
９ゾーンクローズアップ表示（→50ページ）

画面の一部を２倍に拡大して表示できます。



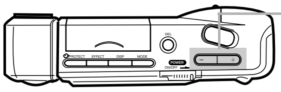
先頭ページ出し（→44ページ）

先頭ページに移動することができます。



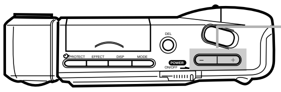
【シャッター】ボタンと【－】ボタンを同時に押します。

ページ早送り（→44ページ）
ページを早く送ることができます。

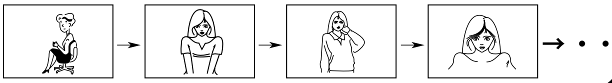


【＋】ボタンまたは、【－】ボタンを約２秒以上押し続けます。

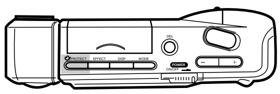
オートプレイ機能（→52ページ）
自動的に次々と撮影内容を表示していくことができます。

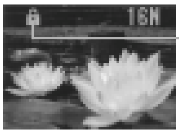


【＋】ボタンと【－】ボタンを同時に１秒以上押し続けます



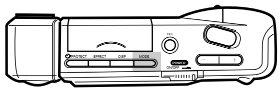
メモリープロテクト機能（→55ページ）
大事なページを誤って削除してしまわないように保護します。





メモリープロテクト表示

画像変換（→65ページ）
FINEモードで撮影した画像をNORMALモードの画像に変換することができます。



※１度FINEモードの画像からNORMALモードの画像に変換すると元に戻すことはできません。

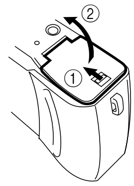
電源について

本機は、乾電池（単３型アルカリ電池および、リチウム電池）または家庭用電源を利用できる２電源方式です。

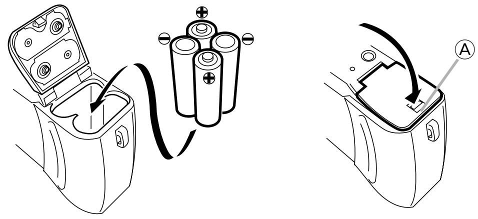
電池を入れるには

電池交換の際は、電源を切った状態で行なってください。

1. **本体底面の電池フタの開閉ツマミを、矢印の方向にスライドさせ（①）、フタを開きます（②）。**



2. **電池を図のようにセットした後、電池フタを閉めます。**



- 必ず単３形のアルカリ電池および、リチウム電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません（27ページご注意参照）。
- ⊕／⊖の向きを正しく入れてください。
- ツマミ部分が「パチン」というまでしっかりと押し下げてください。
- 電池フタの先端（Ⓐの部分）を押すと簡単に閉めることができます。

電池の取り扱い上のご注意



● 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

● 電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

● 使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- ２週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。

電池の発熱について
電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

電池持続時間の目安
以下の電池持続時間は、常温にて使用した場合の標準時間です。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使 用 電 池	単３型アルカリ電池　LR6	単３型リチウム電池　FR6
連続再生時	約150分	約240分
連続撮影時	約96枚撮影可能 （1分間に1枚撮影した場合）	約180枚撮影可能 （1分間に1枚撮影した場合）

LR6は松下電池工業(株)製 使用時、FR6は富士写真フィルム(株)製 使用時の目安です。
※ 電池寿命はメーカーによって異なります。

電池消耗時の表示（バッテリー警告）について
本機の電池が消耗すると、本機の画面中央にバッテリー警告“  ”が表示されます。

この表示が出た場合は、電池をすべて新しいものと交換してください。そのまま使用し続けた場合は、約10分（アルカリ電池使用時）で使用できなくなります。

フラッシュメモリーについて
本機は、撮影画像の記録用として「フラッシュメモリー」を内蔵しています。フラッシュメモリーは、電池の消耗などにより本機への電源の供給が途絶えた場合でも、記録した撮影画像のデータを保持することができます。電池消耗により本機の電源が入らなくなった場合でも、新しい電池を入れ直すか、別売品のACアダプターを接続して再度電源を入れることで、撮影した画像を再び見ることができます。

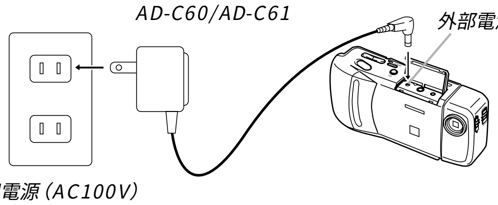
オートパワーオフ
本機の電源を入れたままで、一切の操作を行なわずに放置すると、節電のために自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、撮影モード時*で約２分、再生モード時*で約５分です。再び使用するときは、電源を入れ直してください。

* 【ファンクションスイッチ】を[REC]の位置にセットした状態を「撮影モード」、[PLAY]の位置にセットした状態を「再生モード」と呼びます。

重要！
以下の状態では、オートパワーオフは働きませんので、ご注意ください。
- オートプレイ中（52ページ参照）
- 本機のデジタル端子を通じて本機を外部のパソコンなどと接続しており、パソコンから本機を操作しているとき（76ページ参照）
- ACアダプターを接続しているとき（29ページ参照）

家庭用電源（AC100V）を使うには

家庭用電源から電源を取るには、別売品の専用ACアダプター（AD-C60/AD-C61）をご利用ください。



ACアダプターについてのご注意



- 表示された電源電圧（ＡＣ１００Ｖ）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。（ＡＣアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ＡＣアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- ＡＣアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

- 濡れた手でＡＣアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一、ＡＣアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際には、必ず本機の電源を切った状態で行なってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行なうと、製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。

操作のしかた

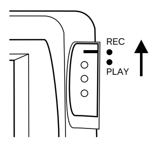
ここでは、本機の操作のしかたを詳しく説明します。撮影に際して調節のできる各項目、撮影した画像の見かたのさまざまなバリエーション、必要のない撮影内容の削除のしかたについてが記載してあります。

撮影する

基本的な撮影

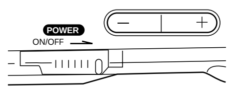
最も基本的な撮影のしかたです。以下の手順で操作してください。

1. **撮影モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を[REC]の位置に合わせます。



2. **電源を入れます。**
   - 【電源スイッチ】を矢印の方向にスライドさせます。

   ＊ *【電源スイッチ】は、指を離すと元の位置に戻ります。*

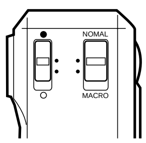


   → *この時、液晶画面には、レンズを向けた方向の光景が表示されます。*

   ＊ *手順１と２は、どちらの操作を先に行なっても構いません。*

   ＊ *電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度スライドさせてください。*

3. **【標準／接写切替スイッチ】を[NORMAL]の位置に合わせます。**
   - 15cm前後の位置にある被写体を撮影する場合は、[MACRO]の位置が適しています。標準／接写切替についての詳しい説明は、37ページを参照してください。



参考

液晶画面に表示される画像は、ビデオのコマ送りの画像のように見えますが、故障ではありません。本機は、レンズから入った映像を、１秒間に約７回の割合で連続的に液晶画面に表示しているためです。

4. **画質モードを切り替えます。**

- 【MODE】ボタンを押します。

＊【MODE】ボタンは１回押すたびにFINE←→NORMALが切り替わります。

＊ FINEモードとNORMALモードでは、保存できる枚数が異なります（37ページの「画質モードの切り替え」を参照ください）。

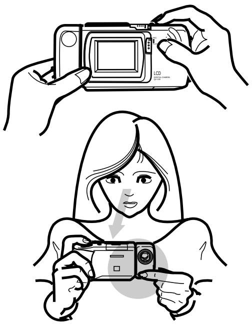
5. **撮影します。**

- 液晶画面を見ながら、ゆっくりと被写体にフレームを合わせます。

＊ 液晶画面は、正面から見るようにしてください。

＊ レンズを指でふさがないようにご注意ください。

＊ レンズが汚れているときは、付属のクロスできれいに拭いてから撮影してください。



- 撮影するフレームが決まったら、【シャッター】ボタンを押します。

＊ 手ブレを起こさないために、【シャッター】ボタンは静かに押してください（次ページの「手ブレについて」もご参照ください）。

＊【シャッター】ボタンを押すと画面上に"WAIT"と表示され、約６秒間、今撮影した映像が表示されたままになります。約６秒後に画面が元に戻ると、引き続き撮影ができます。

＊ ここで【ファンクションスイッチ】を［PLAY］に合わせると、今撮影した内容が確認できます。



撮影中、画面に"WAIT"の表示が出ている間に、電池ケースのフタを開けることは、絶対におやめください。画面に"WAIT"が表示されている間に誤って電池ケースのフタを開けてしまうと、今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。

手ブレについて

撮影の際、【シャッター】ボタンを押す瞬間に手元が動いてしまうと、手ブレを起こし、撮影された画像が乱れている場合があります。手ブレを防ぐには、以下のようなことにご注意ください。

- 液晶画面上で、被写体の位置が大きく移動しないように気をつけてください。
- 薄暗い場所での撮影時は、できるだけ三脚などに本機をしっかりと固定した上で撮影を行なうことをおすすめします。本機は、被写体の明るさに応じて自動的にシャッタースピードの調節を行なうため、薄暗い場所ではシャッタースピードが落ち、手ブレが起きやすくなります。

室内（蛍光燈照明）での撮影について

蛍光燈照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光燈のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。撮影画像の明るさや色合いは、【シャッター】ボタンを押す瞬間に液晶画面に表示されている画像の明るさ・色合い通りとなりますので、画面を見て良い状態の時に【シャッター】ボタンを押してください。また、より美しく撮影したい場合は、市販のビデオライトなどの光源を用意することをお勧めします。

赤外線を発生する被写体について

ストーブ等、赤外線を発生するものを撮影すると、適正な色にならないことがあります。これは、本機の受光部の特性によるもので、例えばストーブの赤い発熱部が緑色に映ったりすることがあります。この色の違いは、撮影時に液晶画面で確認することができますので、液晶画面で見たままの色で記録されるとお考えください。

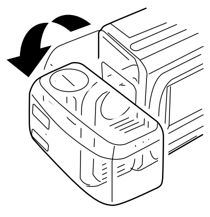
屋外での撮影について

強い光、またはその反射光を撮影すると、緑色がかることがあります。これは、受光部の特性によるもので、カメラの故障ではありません。

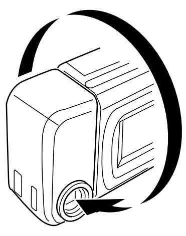
絞りを［●］の位置（F8）に切り替えて撮影すると低減させることができます。

レンズ部の回転について

本機のレンズ部は回転する構造になっており、本体を傾けることなく自由なアングルで被写体を捉えることができます。

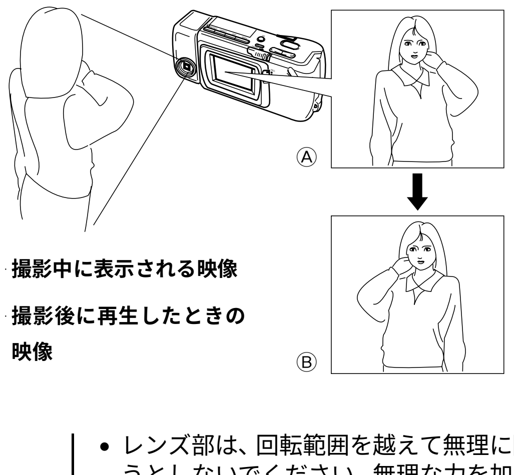


奥の方向には９０°まで倒すことができます



手前方向には１８０°回転します

- レンズ部を手前に回転させた場合は、液晶画面に表示される映像は１３５°の位置で反転し鏡像（左右が逆の映像）となります。この状態で撮影を行なった場合、再生した映像は正像に戻ります。



Ⓐ……**撮影中に表示される映像**

Ⓑ……**撮影後に再生したときの映像**

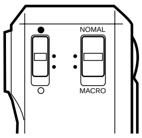


- レンズ部は、回転範囲を越えて無理に回そうとしないでください。無理な力を加えると、レンズ部が折れるなど破損するおそれがあります。
- レンズ部のみを持って持ち運んだり、ふり回したりしないでください。
- 本機の保管時は、レンズ部は元の状態（レンズを液晶画面の反対側に向け、本体に対して傾きのない状態）に戻しておいてください。

標準／接写の切り替え

本機は、撮影したい被写体までの距離に応じて、標準／接写の切り替えができます。

標準／接写の切り替えには、【標準／接写切替スイッチ】を使います。[NORMAL]（標準）、[MACRO]（接写）それぞれの位置での撮影に適した距離は以下の通りです。



		標準撮影	接写撮影
切替スイッチ		NORMAL	MACRO
絞り	F2.8(○)	0.5m〜∞ 室内で人物をバストアップで撮影する場合	14cm〜18cm 室内で名刺などを撮影する場合
	F8(●)	0.3m〜∞ 屋外撮影全般	11cm〜27cm 屋外で花などをアップで撮影する場合

* 絞りの切り替えについては、39ページを参照してください。

画質モードの切り替え

本機は、保存する画質に応じて、FINE／NORMALの切り替えができます。FINE／NORMALの切り替えには、【MODE】ボタンを使います。[FINE]（精細）、[NORMAL]（標準）それぞれの保存枚数は以下の通りです。

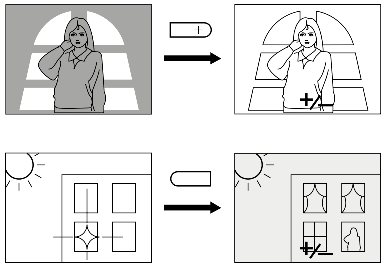
精細画質	FINE “ F ”	64枚（約480kbit圧縮画像）
標準画質	NORMAL “ N ”	192枚（約160kbit圧縮画像）

＊FINE/NORMALを途中で切り替えて撮影することもできます。

露出補正について

本機は、撮影時の明るさに応じて、シャッタースピードを自動的に変化させる「自動露出」を行なっています（AE機能）。このAE機能とは別に、露出値（EV値）を一定範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影や、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影時などに利用すると、より良好な画像が得られます。

1. **撮影モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を[REC]の位置に合わせます。
2. **【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押すと露出値（EV値）になり、画面に“ ＋／－ ”が表示されます。**
   - 【＋】ボタンを押すと液晶画面が明るくなるので、室内などの暗い所や逆光での撮影時に適します。【－】ボタンを押すと液晶画面が暗くなり、晴天の屋外などでの撮影に適します。



3. **適当な明るさになったら、【シャッター】ボタンを押してください。**

参考

- 電源を入れた時点では、露出補正値は0になっています。
- 露出補正値は、【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押すごとに、0.25EV刻みで変化し、-2EV〜+2EVの範囲で変化させることができます。
- 露出補正値は、【シャッター】ボタンを押すごとにリセットされて０に戻ります。【シャッター】ボタンを押さずにリセットしたい場合は、反対方向に露出補正し、“ ＋／－ ”表示を消します。

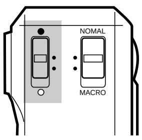
重要！

露出補正値は、明るすぎたり暗すぎたりする環境では（-2EV〜+2EV）の範囲で変化できない場合があります。

絞りの切り替え

撮影時の明るさに応じて、絞りを２通りに切り替えることができます。絞りの切り替えには、【絞り切替スイッチ】を使います。

- [●]の位置（F8）に合わせると光量が減少します。屋外での撮影などでは、この位置が適しています。
- [○]の位置（F2.8）では光量が増加します。室内での撮影や逆光での撮影には、この位置が適しています。



参考

- 「光量警告表示」の項（41ページ）もご参照ください。

撮影時の画面表示について

撮影モードで液晶画面に表示される項目について説明します。

液晶画面上での被写体の表示

撮影モード時に、本機のレンズを通して液晶画面に表示される被写体画像は、ビデオのコマ送りの画像のように見えます。これは本機がレンズから入った映像を、１秒間に約７回の割合で連続的に液晶画面に表示しているためです。

参考

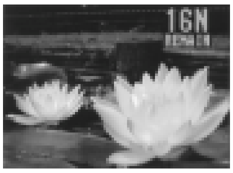
撮影モードで液晶画面に表示される被写体画像は、撮影後に再生モード（44ページ）で見る画像に比べてキメの粗い画像となっています（撮影時に確認できる画像よりも、実際に撮影される画像の方が美しいということです）。撮影モードで液晶画面に表示される画像は、あくまで撮影フレームを決めるための目安とお考えください。

ページ残量／撮影画質モード表示

本機にあと何枚撮影できるかと、保存する画質モードを表示させることができます。

1. **撮影モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を[REC]の位置に合わせます。

2.【DISP】ボタンを押します。



→ 画面の右上端に数字とアルファベットが表示されます。

＊ *この数字は、撮影する画質モードであと何枚撮影できるかの番号を示します。*

＊ *このアルファベットは、撮影する画質が、FINEモード“ F ”(精細)か、NORMALモード“ N ”(標準)かを示しています。*

- ページ残量と画質モードの表示を画面から消したい場合は、再度【DISP】ボタンを押します。

参考

- 撮影モードでの「ページ残量／撮影画質モード表示」の表示／非表示の状態は、再生モードでの「ページ情報表示」(46ページ)およびクローズアップ表示時の「範囲表示」(51ページ)に連動します。例えば撮影モードで「ページ残量／撮影画質モード表示」を表示させている状態で、再生モードにする(【ファンクションスイッチ】を[REC] から [PLAY] に切り替える)と、「ページ情報表示」が表示されている状態になります。

光量警告表示

レンズに入ってくる光の量が適正以上／以下である場合に、画面下中央に「光量警告」が表示されます。

- ○ ....光量が少なすぎる(暗すぎる)ことを示します。
- ● ....光量が多すぎる(明るすぎる)ことを示します。

これらの表示が出た場合は、絞りの切り替え(39ページ)の操作を行なってください。

重要！

- 絞りの切り替えの操作によって、光量警告表示が消えるとは限りません。本機で撮影可能な明るさには限度がありますので、あらかじめご了承ください。
- 光量警告表示は、露出補正の操作とは連動していません。表示が出ましたら、絞りの切替の操作をしてください。
- 光量警告が出ていても、【＋】／【－】ボタンで露出補正をすると、光量警告表示をやめて“ ＋／－ ”の露出補正(EVシフト)表示になります。

バッテリー警告について

本機の電池が消耗すると、本機の画面中央にバッテリー警告“ ”が表示されます。

この表示が出た場合は、電池をすべて新しいものと交換してください。そのまま使用し続けた場合は、約１０分(アルカリ電池使用時)で使用できなくなります。

- 電池交換のしかたについては、26ページを参照してください。

メモリー表示について

FINEモードで撮影していき、NORMALモードで撮影可能枚数が残っている場合は“ REMAIN ”と表示されます。このとき、【MODE】ボタンを押すとNORMALモードで撮影を続けることができます。

“ MEMORY FULL ”と表示された場合は、削除または、画像変換機能を使いFINEの画像をNORMALの画像に変換する操作を行なわないと、これ以上撮影することはできません。削除については60ページ、画像変換の操作については65ページを参照してください。

セルフタイマーによる撮影

セルフタイマーを使うと、ボタンを押してから１０秒後に撮影することができます。

1. **撮影モードを選びます。**

- 【ファンクションスイッチ】を[REC]の位置に合わせます。

2. **セルフタイマー撮影を開始します。**

- 本機を三脚や机の上などにしっかりと固定し、液晶画面を見ながら被写体にフレームを合わせます。
- 撮影するフレームが決まったら、【 /PROTECT】ボタンを押します。

＊ *液晶画面に１０秒前からのカウントダウンが表示され、１０秒後に自動的に撮影されます。*

＊ *カウントダウン表示中は、【 /PROTECT】ボタンまたは【シャッター】ボタンを押すことで、セルフタイマー撮影を解除することができます。*

参考

セルフタイマー撮影時は、レンズ部を１８０°回転させて、レンズと液晶画面を同じ側にしておくと、セルフタイマーのカウントダウン表示を見ながら撮影されるのを待つことができます。途中で撮影をキャンセルしたくなった場合などにも、あと何秒で撮影されるかがわかり、便利です。

重要！

電池が消耗している時に【 /PROTECT】ボタンを押すと、セルフタイマーのカウントダウン中に自動的に電源が切れることがあります。このような場合は、電池を新しいものと交換してください。

撮影した内容を見る

ここでは、撮影した内容のいろいろな見かたを説明します。

撮影した内容を本体だけで見る

本機で撮影した内容は、１～１９２(標準画質モードで撮影時)までの番号付きで本機の内部メモリーに保管されています。１９２ページまである映像のメモ帳だと思ってください。さて本機は液晶画面を備えているので、保管されている内容を本機だけで確認することができます。保管されている内容は、メモ帳のページをめくる要領で、順次送ったり戻したりしながら見ることができます。以下の操作手順にしたがってください。

1. **電源を入れ、再生モードを選びます。**

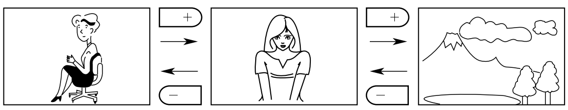
- 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置に合わせます。

＊ *[PLAY]は撮影した内容を見るときの位置(再生モード)、[REC]は撮影するときの位置(撮影モード)です。*

＊ *このとき、画面には前回最後に表示していたページが表示されます。*

2. **撮影済みの内容を順次送ってみましょう。**

- 【＋】ボタンを押します。１回押すたびに、１枚目→２枚目→３枚目．．．と順次送ることができます。
- 逆に、【－】ボタンを押すと順次前に戻すことができます。
- 【シャッター】ボタンと【－】ボタンを同時に押すと先頭ページに移動することができます。
- 【＋】ボタンまたは、【－】ボタンを２秒以上押し続けるとページを早く送ることができます。



参考

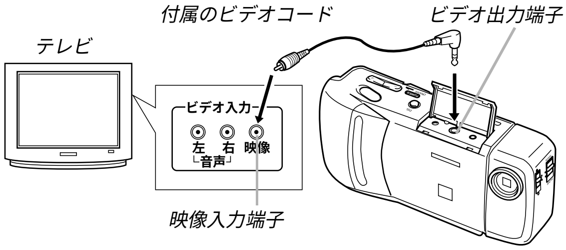
撮影を行なった直後に【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置にした場合は、今撮影した内容が表示されます。

テレビに接続して撮影した内容を見る

本機で撮影した内容を、テレビ画面に映して見ることができます。テレビ画面に映すには、本機に付属の専用ビデオコードを使って本機とテレビを接続します。以下の図のように接続を行なってください。

重要！

- テレビを本機と接続するには、テレビ側が以下のイラストのような「映像入力端子」を備えている必要があります。
- 接続は、必ず本機とテレビの電源を切った状態で行なってください。



接続したら、テレビ側のチャンネルを、「ビデオ入力」にセットしてください。

接続後の操作手順は、「撮影した内容を本体だけで見る」の手順とまったく同じです。44ページをご参照ください。

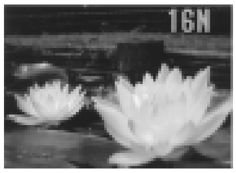
重要！

- テレビに接続して見ることができるのは、本機で撮影済みの内容だけです。撮影モードの状態では、本機の液晶画面に表示されている内容を本機と接続したテレビに表示させることはできません。
- 本機のビデオ出力は、日本やアメリカなどで標準的なNTSC方式になっています。ヨーロッパなどのPAL方式や他の方式のテレビ、ビデオ機器では正常に表示されませんのでご注意ください。

ページ情報表示

再生モードでは、現在表示している画面のページ番号、プロテクト、画質モードを表示させることができます。

1. **再生モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置に合わせます。
2. **【DISP】ボタンを押します。**
   → 画面上にページ番号と画質モードが表示されます。
   - ページ情報表示を画面から消したい場合は、再度【DISP】ボタンを押します。



参考

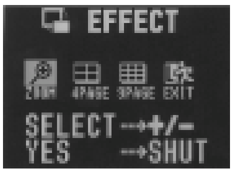
- ページ情報の表示中に、ページの左上に“ ”が付いている場合は、そのページが「メモリープロテクト」（削除防止）されていることを示します（55ページ）。
- 再生モードでの「ページ情報表示」の表示／非表示の状態は、撮影モードでの「ページ残量／撮影画質モード表示」（40ページ）およびクローズアップ表示時の「範囲表示」（51ページ）に連動します。

マルチ画面表示

本機で撮影した内容を、４枚または９枚同時に一覧表示させることができます。

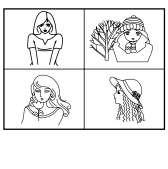
大画面テレビに表示してカタログ的に楽しんだり、プレゼンテーションなどで威力を発揮します。

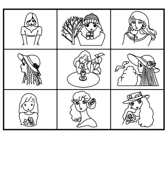
1. **再生モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。
2. **“ EFFECT ”メニュー画面を表示させます。**
   - 【EFFECT】ボタンを押します。
   → ４画面表示“ 4PAGE ”か、９画面表示“ 9PAGE ”にするのかを設定する画面が表示されます。



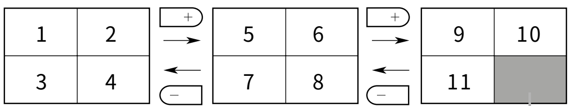
※ 非表示モード中は、マルチ画面表示をすることができません。

3. **マルチ画面のサイズを指定します。**
   - 【＋】ボタンまたは【−】ボタンを使って、“ 4PAGE ”または“ 9PAGE ”を指定します。
   ＊ 操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。
4. **【シャッター】ボタンを押します。**
   ＊ ４画面表示、９画面表示は、最初に表示していた画面を先頭として４画面、９画面がそれぞれ表示されます。





5. **４画面表示、９画面表示でも、画面の送り／戻しができます。**
   - 【＋】／【−】ボタンを押すごとに、４画面表示の場合は４画面ずつ、９画面表示の場合は９画面ずつの送り／戻しができます。



画面が足りない分は、このようにブラックで表示されます。

6. **マルチ画面表示を終了するには、【＋】／【−】以外のボタンを押します。**

参考

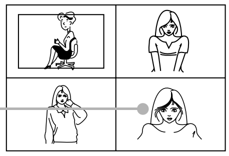
マルチ画面表示中、本機の液晶画面や、本機と接続したテレビの画面表示の明るさが、１画面だけで表示した場合とは若干異なる場合があります。これは、AGC（画面の明るさを、表示内容によって自動的に調節するしくみ）のはたらきによるもので、画面の明るさがマルチ画面の中の最も明るい画面に合わせられるためです。

マルチ画面表示から１画面を選んで表示する

マルチ画面表示を使うと、すばやく目当ての画面を探して１画面表示させることもできます。以下の手順は、４画面表示での例です。

1. **マルチ画面表示に切り替えます。**
   - ４画面表示を指定します。
2. **【DISP】ボタンを押します。**

   → 左上の画面が枠で囲まれます。



これが目当ての画面だとします

3. **枠を目当ての画面に移動させます。**
   - 枠の移動には、【＋】／【－】ボタンを使います。
4. **【シャッター】ボタンを押します。**

   → 目当ての画面が１画面表示されます。



参考

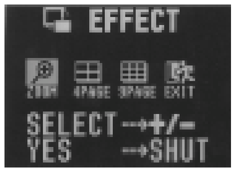
９画面表示の場合でも、操作手順は上記と同様です。

９ゾーンクローズアップ機能

本機で撮影した内容を、部分的に２倍に拡大して表示させることができます。１画面表示の状態から、以下の操作を行なってください。

1. **再生モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。
2. **“ EFFECT ”メニュー画面を表示させます。**
   - 【EFFECT】ボタンを押します。

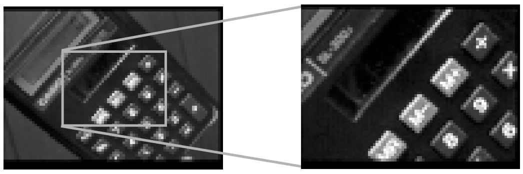
   → クローズアップ“ ZOOM ”を設定する画面が表示されます。



3. **画面を拡大表示します。**
   - 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを使って“ ZOOM ”を指定します。

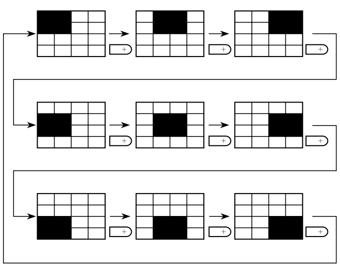
   ＊ *操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。*
4. **【シャッター】ボタンを押します。**

   → 画面の中央部が２倍に拡大されて表示されます。



5. **元の画面上での拡大する範囲を移動できます。**
   - 【＋】／【－】ボタンを押します。押すごとに、拡大範囲が下の図のように移動します。
6. **クローズアップ表示を終了するには、【＋】／【－】／【DISP】以外のボタンを押します。**

拡大範囲の移動のしかた



- 【－】ボタンを押した場合は、この逆の動きになります。

参考

- ページ情報の表示中（46ページ）に拡大表示を行なうと、現在画面上のどの位置が拡大されているかを画面右上端に“ ■ ”で表示します（これを「範囲表示」といいます）。拡大表示中でも、【DISP】ボタンを押すことで、範囲表示の表示／非表示を切り替えることができます。
- 「範囲表示」の表示／非表示の状態は、再生モードでの「ページ情報表示」（46ページ）、および撮影モードでの「ページ残量／撮影画質モード表示」（40ページ）に連動します。

オートプレイ機能

撮影した内容を、自動的に次々とページめくりしていく機能です。ページめくりの間かくを設定することができます。

重要！

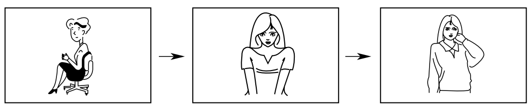
オートプレイ中は、本機のオートパワーオフ機能（本機の操作を行なわないと、一定時間後に自動的に電源が切れる機能、28ページを参照）が働きません。このため、乾電池で本機を使用しているときにオートプレイをしたまま忘れて放置してしまうと、確実に電池が消耗します。オートプレイで撮影した内容を見た後は、必ずオートプレイを終了して、電源を切るようにしてください。

オートプレイを開始するには

オートプレイを開始するには、以下の手順に従ってください。

1. **再生モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置に合わせます。
2. **オートプレイを開始します。**
   - 【＋】ボタンと【－】ボタンを同時に押します。

   ＊ *“ AUTO PLAY START ”の画面が出るまで押し続けてください。画面が出たら指をボタンから離してください。*



３秒後　　*３秒後．．．．*

→ 最後の画面まで行くと、再び最初の画面からオートプレイが繰り返されます。

3. **オートプレイを終了するには、【シャッター】ボタンを押します。**

＊ このとき、【MODE】ボタン以外のどのボタンを押しても、オートプレイを終了することができます。

＊ 画面の移動中はボタンが効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。

オートプレイの設定

以下の操作で、ページめくりの間かく（３～３０秒）の設定を行なうことができます。

1. **「オートプレイを開始するには」（52ページ参照）の手順１、２に従って、まずオートプレイを開始します。**

2. **【MODE】ボタンを押します。**

＊ 画面の静止中に押してください。

→ ここからは、オートプレイの指定モードに入ります。

→ ページめくりの間かくを設定する画面が表示されます。



現在設定されているページめくりの間かく（秒）がここに表示されています。

3. **ページめくりの間かくを指定します。**

- 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを使って指定します。

＊ ページめくりの間かくは、３秒から３０秒までの間で３秒間かくで指定できます。

＊ ページめくりの間かくの設定時間は、画像が画面に表示されてからの時間で、ページ送り中の時間は含まれていません。

4. **【シャッター】ボタンを押します。**

＊ 指定したページめくりの間かくでオートプレイを開始します。

- もし、オートプレイの指定モードから抜けたい場合は、一度【ファンクションスイッチ】を[REC]にして再度[PLAY]に戻すか、電源を切ってください。ここでオートプレイの指定モードから抜けた場合は、設定は指定モードに入る前の状態に戻ります。

参考

マルチ画面表示でのオートプレイも行なうことができます。マルチ画面表示に切り替えてから、オートプレイの操作（52ページ参照）を行なってください。

メモリープロテクト機能

必要なページを誤って削除してしまわないために、本機には「メモリープロテクト」（削除防止）機能が付いています。

＊メモリープロテクトのかけ方には、ページ単位と、全ページ一括設定の２つの方法があります。

※非表示モード中は、メモリープロテクトの登録／解除はできません。

ページ単位でメモリープロテクトをかけるには

1. **再生モードを選びます。**

- 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。

2. **“ PROTECT ”メニュー画面を表示させます。**

- 【PROTECT】ボタンを押します。

→ ページ単位“ PAGE ”か、全ページ“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。



3. **“ PAGE ”を指定します。**

- 【+】ボタンまたは【－】ボタンを使って“ PAGE ”を指定します。

＊ 操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。

4. **【シャッター】ボタンを押します。**

→ “ PROTECT PAGE ”メニュー画面が表示されます。



5. **メモリープロテクトをかけたいページを表示させます。**

- 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押してメモリープロテクトをかける画面を表示させます。

6. **メモリープロテクトをかけます。**

- 【シャッター】ボタンを押します。

＊ 指定したページの左側に鍵マーク“ 🔒 ”が表示されます。

7. **このまま続けてメモリープロテクトを行ないたい場合は、手順５～手順６を繰り返してください。**

＊ 画面を解除する場合は、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押すか、20秒間何も操作しないと元の画面に戻ります。

全ページにメモリープロテクトをかけるには

1. **再生モードを選びます。**

- 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。

2. **“ PROTECT ”メニュー画面を表示させます。**

- 【PROTECT】ボタンを押します。

→ ページ単位“ PAGE ”か、全ページ“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。



3. **“ ALL ”を指定します。**

- 【+】ボタンまたは【－】ボタンを使って“ ALL ”を指定します。

＊ 操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。

4.【シャッター】ボタンを押します。

→“ PROTECT ALL ? ”メニュー画面が表示されます。



5. メモリープロテクトをかけます。

- 【+】ボタンまたは【−】ボタンを使って“ ALL ”を指定します。
- 【シャッター】ボタンを押します。

∗「ページ情報表示」モードにすると、すべてのページの左上に鍵マーク“ ”が表示されます。

メモリープロテクトを解除するには

∗ メモリープロテクトの解除のしかたには、ページ単位と、全ページ一括解除の２つの方法があります。

ページ単位でメモリープロテクトを解除するには

1. “ PROTECT ”メニュー画面を表示させます。

- 【PROTECT】ボタンを押します。

∗ ページ単位“ PAGE ”か、全ページ“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。

2. “ PAGE ”を指定します。

- 【+】ボタンまたは【−】ボタンを使って“ PAGE ”を指定します。

∗ 操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。

3.【シャッター】ボタンを押します。

- “ PROTECT PAGE ”メニュー画面が表示されます。

4. メモリープロテクトを解除したいページを表示させます。

- 【+】ボタンまたは【−】ボタンを押して、メモリープロテクトを解除する画面を表示させます。

5. メモリープロテクトを解除します。

- 【シャッター】ボタンを押します。

∗ 指定したページの左側の鍵マーク“ ”が消えます。

6. このまま続けてメモリープロテクトを解除したい場合は、手順４〜手順５を繰り返してください。

∗ 画面を解除する場合は、【+】／【−】／【シャッター】以外のボタンを押すか、20秒間何も操作しないと元の画面に戻ります。

全ページのメモリープロテクトを解除するには

1. “ PROTECT ”メニュー画面を表示させます。

- 【PROTECT】ボタンを押します。

∗ ページ単位“ PAGE ”か、全ページ“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。

2. “ ALL ”を指定します。

- 【+】ボタンまたは【−】ボタンを使って“ ALL ”を指定します。

∗ 操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。

3.【シャッター】ボタンを押します。

- “ PROTECT ALL ? ”の画面が表示されます。

4. メモリープロテクトを解除します。

- 【+】ボタンまたは【−】ボタンを使って“ CANCEL ”を指定します。
- 【シャッター】ボタンを押します。

∗「ページ情報表示」モードにすると、すべてのページの左上の鍵マーク“ ”が消えます。

メモリープロテクト画面を非表示にするには

再生時にメモリープロテクトがかかった画面を表示させない状態にすることができます。

1.【+】ボタンを押しながら電源を入れます。

- 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置に合わせます。

重要！

- メモリープロテクト画面を非表示にした場合は、メモリープロテクトをかけることはできません。
- メモリープロテクト画面を非表示にした場合は、マルチ画面表示をすることはできません。
- すべてのページにメモリープロテクトをかけていると、液晶画面に“ ALL DATA IS PROTECTED! ”の画面が表示されます。

非表示を解除するには

1.【−】ボタンを押しながら電源を入れます。

- 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置に合わせます。

いらないページを削除する

いらないページを削除すると、削除したページ分だけ再度撮影ができるようになります。

重要！

一度削除してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。削除の操作を行なう際は、本当に不要なページかどうかをよく確かめてから行なってください。特に、全ページ削除の操作では、撮影した全ての内容を一度に削除してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

∗メモリープロテクトのかかったページは削除できません。57ページを参照してメモリープロテクトの解除を行なってから操作をしてください。

∗マルチ画面表示・拡大表示・オートプレイ中は、削除することができません。

１ページずつ削除する

削除するページを１ページずつ確認しながら削除する方法です。

1. 再生モードを選びます。

- 【ファンクションスイッチ】を [PLAY] の位置に合わせます。

2. “ DELETE ”メニュー画面を表示させます。

- 【DEL】ボタンを押します。

→ ページ単位“ PAGE ”か、全ページ“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。



3. **“ PAGE ”を指定します。**

- 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを使って“ PAGE ”を指定します。

＊ *操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。*

4. **【シャッター】ボタンを押します。**

→ “ DELETE PAGE? ”メニュー画面が表示されます。



5. **削除したいページを表示させます。**

- 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを押して削除したい画面を表示させます。

＊ *このときプロテクト設定されている画像は表示されません。*

6. **現在表示されている画面が間違いなく削除したい画面であることを確認してください。**

＊ *もし、削除せずに元の画面に戻るには、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押します。*

7. **削除するには、【シャッター】ボタンを押します。**

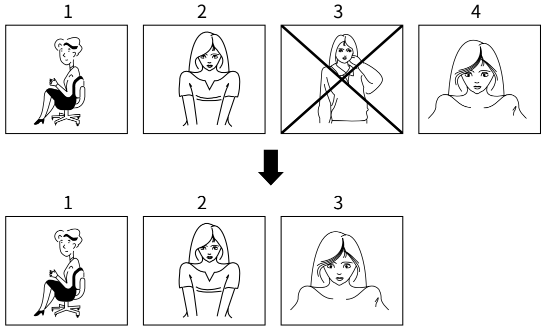
＊ *画面に表示されていたページが削除され、続けて次のページ削除ができる状態になります。*

8. **このまま続けてページ削除を行ないたい場合は、手順５～手順７を繰り返してください。**

＊ *削除の操作を終了したい場合は、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押します。*

参考

１ページ削除を行なうごとに、ページの空きができないように自動的に「ページ詰め」が行なわれます。



すべてのページを一度に削除する

本機で撮影した内容のすべてを一度に削除する方法です。この方法で削除を行なっても、メモリープロテクト（55ページ参照）をかけたページだけは削除されません。

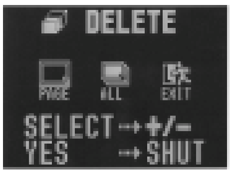
1. **再生モードを選びます。**

- 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。

2. **“ DELETE ”メニュー画面を表示させます。**

- 【DEL】ボタンを押します。

→ ページ単位“ PAGE ”か、全ページ“ ALL ”かを設定する画面が表示されます。



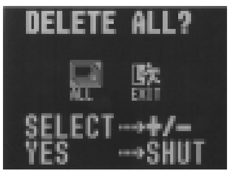
3. **“ ALL ”を指定します。**

- 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを使って“ ALL ”を指定します。

＊ *操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。*

4. **【シャッター】ボタンを押します。**

→ “ DELETE ALL? ”メニュー画面が表示されます。



重要！

次の操作を行なうと、本機で撮影した内容のすべてが削除されます。すべて削除してよいかどうか確認がお済みでない場合は、ここで“ EXIT ”を選んで一度元の画面に戻り、再度撮影内容をご確認の上、はじめから操作を行なうことをお勧めします。

5. **すべてのページを削除します。**

- 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを使って“ ALL ”を指定します。
- 【シャッター】ボタンを押します。

＊ *操作を中止したい場合は“ EXIT ”を指定します。*

＊ *すべてのページが削除され、画面に“ MEMORY EMPTY ”と表示されます。*

＊ *非表示モードですべてのページを削除すると、画面に“ ALL DATA IS PROTECTED! ”と表示されます。*

＊ *全画面表示モードでプロテクト画像がある場合は、プロテクトの画像が表示されます。*

画像変換機能

FINEモードで撮影した画像をNORMALモードに変換することができます。

＊変換後FINEモードの画像は削除されます。

1. **再生モードを選びます。**
   - 【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。
2. **“ FINE→NORMAL ”メニュー画面を表示させます。**
   - 【MODE】ボタンを押します。

   → 画像を変換する画面が表示されます。

   ＊ このとき、プロテクト設定されているFINEモードの画像と、NORMALモードの画像は表示されません。

   ＊ 変換可能な画像がない場合は、通常の画面に戻ります。
3. **変換するページを指定します。**
   - 【＋】ボタンまたは【－】ボタンを使って画面を表示させます。
4. **【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ 画像の変換を開始します。
5. **このまま続けて画像変換を行ないたい場合は、手順３～手順４を繰り返してください。**

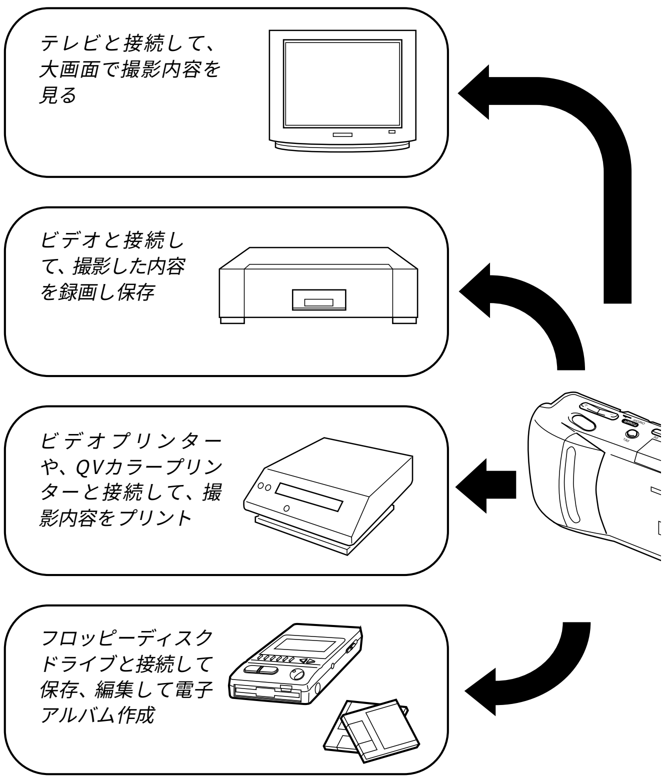
   ＊ 画像変換の操作を終了したい場合は、【＋】／【－】／【シャッター】以外のボタンを押してください。

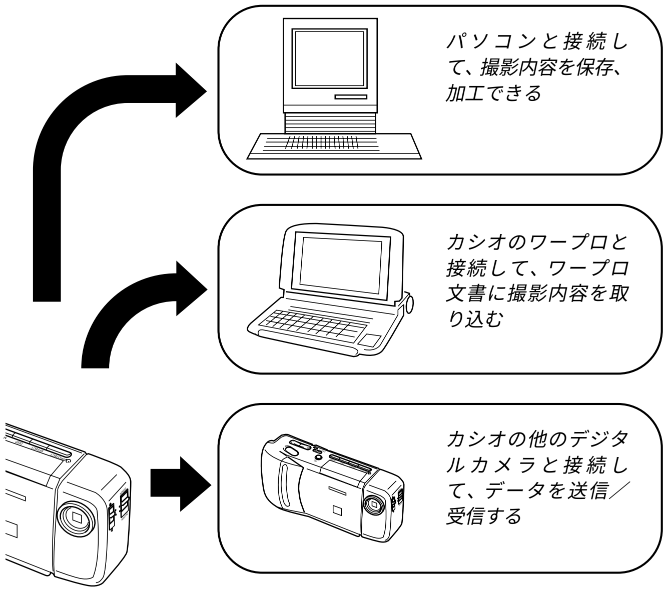
さまざまな 機器との接続

ここでは、本機とさまざまな外部機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）を接続して使うときの接続のしかた、および使いかたについて説明します。また、接続に際しての注意点なども、あわせて説明します。

接続の概略

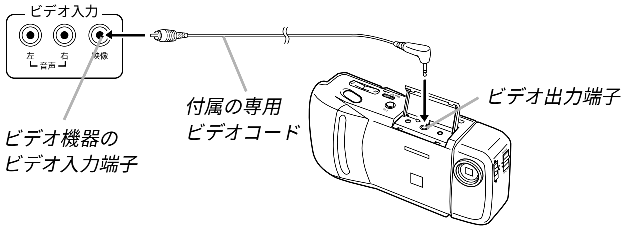
本機は、接続用の端子として「ビデオ出力端子」と「デジタル端子」の２つを備えており、テレビやビデオ、パソコンなどさまざまな機器と接続して使うことができます。



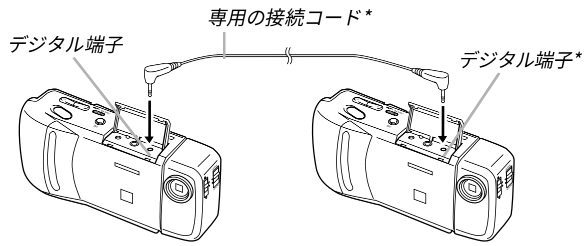


接続に使う端子について

ビデオ出力端子 ― ビデオ入力端子付きのテレビ、ビデオデッキ、ビデオプリンターなどと接続できます。接続には、本機に付属の専用ビデオコードを使います。



デジタル端子 ― パソコンやカシオのワープロ、QVカラープリンター、デジタルカメラと接続する端子です。パソコンとの接続には、別売品のパソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが必要です。下図はデジタルカメラとの接続例です。



* *専用の接続コード、および接続用の端子や端子の形状は、接続する相手により異なります。接続相手に応じた説明をご参照ください（71～78ページ）。*

接続のしかたと操作

さまざまな機器と本機の接続のしかた、実際に接続できる機種などについて説明します。なお、以下の説明で、 VIDEO はビデオ端子と接続する場合、 DIGITAL はデジタル端子と接続する場合を示します。

重要！

- 接続は、本機と外部機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続する外部機器側の取扱説明書もご参照ください。

テレビとの接続 VIDEO

テレビとの接続のしかたについては、45ページをご参照ください。

ビデオデッキとの接続 VIDEO

ビデオデッキと接続すると、本機で撮影した内容をビデオに録画することができます。本機のビデオ出力端子とビデオデッキのビデオ入力端子を、本機に付属の専用ビデオコードを使って接続してください。

- ビデオデッキは、ビデオ入力からの映像を録画できるようにセットします。ビデオに付属の取扱説明書をご参照ください。
- 接続とビデオのセットが済んだら、本機側で再生の操作（44ページ）を、ビデオ側で録画の操作を行なってください。本機の再生にはオートプレイ（52ページ）を使うことをお勧めします。一定間かくでページめくりが自動的に行なわれるので録画には便利です。
- ページ情報表示（46ページ）を出した状態で録画を行なうと、ページ表示もそのまま録画されますのでご注意ください。
- バッテリー警告表示（42ページ）が表示された状態で録画を行なうと、その表示もそのまま録画されますのでご注意ください。

ビデオプリンターとの接続 VIDEO

ビデオプリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。本機のビデオ出力端子とビデオプリンターのビデオ入力端子を、本機に付属の専用ビデオコードを使って接続してください。

- 接続が済んだら、本機側で再生の操作（44ページ）を行ないます。ビデオプリンターでプリントする操作については、ビデオプリンターに付属の取扱説明書をご参照ください。
- ページ情報表示（46ページ）を出した状態で画面の取り込みを行なうと、ページ表示もそのまま印刷されますのでご注意ください。
- バッテリー警告表示（42ページ）が表示された状態で画面の取り込みを行なうと、その表示もそのまま印刷されますのでご注意ください。

QVカラープリンターとの接続 DIGITAL

QVカラープリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。本機のデジタル端子とQVカラープリンターのケーブル端子を、QVカラープリンターに付属の通信ケーブルを使って接続してください。

接続できる機種：カシオQG-100

- 接続が済んだら、本機の電源を入れ、【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。QVカラープリンターでプリントする操作については、QVカラープリンターに付属の取扱説明書をご参照ください。

ワープロとの接続 DIGITAL

カシオのワープロと接続して、本機の撮影内容をワープロに取り込むことができます。取り込んだ画像は、ワープロ文書内に配置して、印刷することができます。本機のデジタル端子とワープロのオプション接続コネクターを、別売品の専用コード（SB-600）を使って接続してください。

接続できる機種：カシオG-900ST／CX-7000／CX-300／CX-100／CX-70／CW-55／CX-11/CX-7／CX-1／PS-10（'97年3月現在）

FINEモードで撮影したデータをG-900ST／CX-100／CX-70／CW-55／CX-7／PS-10で扱う場合、自動的にNORMALモードのデータに変換されます。

- 接続が済んだら、本機の電源を入れ、【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置に合わせます。ワープロ側の操作については、ワープロに付属の取扱説明書をご参照ください。

カシオの他のデジタルカメラとの接続 DIGITAL

カシオの他のデジタルカメラと接続して、本機の撮影内容を他のデジタルカメラに取り込んだり、他のデジタルカメラから本機にデータを読み込むことができます。

本機のデジタル端子と他のデジタルカメラのデジタル端子を、別売品の専用コード（SB-62）を使って接続してください。

接続できる機種：カシオQV-10／QV-10A／QV-11／QV-30／QV-100/QV-300

通信の準備

1. **両方のデジタルカメラの電源をOFFにします。**
2. **本機のデジタル端子と他のデジタルカメラのデジタル端子を別売品の専用コード（SB-62）を使って接続します。**
3. **両方のデジタルカメラの電源をONにします。**

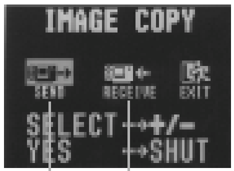
通信の実行

1. **両方のデジタルカメラの【ファンクションスイッチ】を［PLAY］の位置に合わせます。**
2. **送受信したい画面を選びます。**
   - 本機から送信時・・・本機の【＋】／【－】ボタンで選びます。
   - 本機へ受信時・・・・他のデジタルカメラの【＋】／【－】ボタンで選びます。

   ＊［REC］の状態では、通信は開始できません。

   ＊ マルチ画面やクローズアップ画面の通信はできません。
3. **本機の【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ この操作は、必ずQV-100側を本機としてください。
4. **本機の【＋】／【－】ボタンで送信“SEND”または受信“RECEIVE”を選びます。**



送信　受信

＊ 操作を中止したい場合は“EXIT”を指定します。

5. **本機の【シャッター】ボタンを押します。**

   ＊ 選択した画像が送受信されます。

   ＊ 一度に送受信できる画像は１枚です。複数枚数やりとりする場合は２～５の操作を繰り返してください。

重要！

通信操作中は、絶対にケーブルを抜いたり、電源スイッチや、ファンクションスイッチを操作しないでください。故障の原因になります。

送信、受信による画質の関係

QV-100/QV-300同士

FINE←→FINE

NORMAL←→NORMAL

QV-100と他の機種（QV-10／QV-10A／QV-11／QV-30）

FINE→NORMAL

FINEモードの画像を送ると、NORMALモードの画像に変換して送信されます（NORMALモードの画像は、FINEモードの画像に変換されません）。

NORMAL←→NORMAL

＊ QV-10／QV-10A／QV-11／QV-30の画像はNORMALモードのみです。

パソコンとの接続 DIGITAL

本機をパソコンと接続する方法は、パソコンの機種や機能により、２通りあります。また、パソコンと接続するソフトも２種類あります。

■パソコンリンクケーブル、およびパソコンリンクソフトを使った接続

本機の撮影内容を、最も劣化の少ないデジタルデータの状態でパソコンに転送するための専用パソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが用意されています。専用パソコンリンクケーブルとパソコンリンクソフトを使うと、本機の撮影内容をパソコンにデータ送信したり、逆にパソコンの画像データを本機に取り込んだりすることができます。

パソコンの機種に応じた接続のしかた、本機の操作とパソコン上のソフトの使いかたについては、パソコンリンクソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

使用できるケーブル

PC-9801/9821シリーズ用：QC-1N

IBM PC/AT互換機用：QC-1D

Macintosh用：QC-2M

使用できるソフト

Windows版：LS-1W

Macintosh版：LS-2M

- Windows版、LK-1／LK-10NC／LK-10DVおよび、Macintosh版、LK-2／LK-2Aの接続キット中のパソコンリンクソフトでは動作保証しておりませんのでご使用にならないでください。
- カシオのパソコンリンクソフトの動作環境については、各々のパッケージ、または取扱説明書を参照してください。

■ビデオキャプチャー機能を備えたパソコンとの接続 VIDEO

パソコンの機種によっては、ビデオ映像をパソコンに取り込む機能（ビデオキャプチャー機能）をあらかじめ備えているものがあります。また、ビデオキャプチャーボードを増設することによって、ビデオ映像の取り込み機能を追加できる機種もあります。このようなパソコンを使うと、本機の撮影内容をパソコンに取り込むことができます。本機のビデオ出力端子とパソコン側のビデオ入力端子を、本機に付属の専用ビデオコードを使って接続してください。

- 接続が済んだら、本機およびパソコンの電源を入れ、本機側で再生の操作（44ページ）を行ないます。パソコン側の操作については、パソコン又はビデオキャプチャーボードに付属の取扱説明書をご参照ください。

重要！

- この接続方法では、パソコンの画像データを本機に取り込むことはできません。
- パソコンやビデオキャプチャーボードの機種によっては、ビデオ入力端子としてS端子しか持っていない場合があります。本機はS端子のビデオ入力とは接続できませんので、ご注意ください。

フロッピーディスクドライブとの接続 DIGITAL

カシオの専用フロッピーディスクドライブを使用することで、本機の内容をデジタルデータで3.5型2DDおよび2HDフロッピーディスクへ保存、編集することができます。逆に保存された画像データを本機へ取り込むこともできます。フロッピーディスクに保存したデータは、カシオのパソコンリンクソフトを使用してパソコンで編集、加工することもできます。本機との接続はフロッピーディスクドライブに付属の専用コードを使用してください。接続や操作の方法はフロッピーディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。

接続できる機種：カシオFD-10v

重要！

- FD-10vが対応しているフロッピーディスクのフォーマットはMS-DOSフォーマットです。
- FD-10vが対応しているデータ形式はCAM形式のみです。「CAM形式」はカシオのデジタルカメラとパソコンの間で画像データを相互に転送するための専用データ形式です。この形式の画像ファイルはパソコン上でカシオのパソコンリンクソフトで開くことができます。
- 従来機のFD-10は対応していませんのでご使用にならないでください。

ご参考、および保証等について

本機の操作中に不都合があった場合は、本章の「故障とお思いになる前に」をご参照ください。製品の仕様や別売品についても、こちらに記載してあります。また、保証とアフターサービスについて、カシオのサービスセンター一覧が巻末に付記されています。

故障とお思いになる前に

	現象	考えられる原因	対処
電源について	電源が入らない	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。 3) 本機専用以外のACアダプターを使用している。	1) 電池を正しい向きに入れる（→26ページ）。 2) 新しい電池と交換する（→26ページ）。 3) 本機専用のACアダプター（AD-C60/AD-C61）を使用する。
	電源が勝手に切れた	1) オートパワーオフが働いた（→28ページ）。 2) 電池消耗している。	1) 再度電源を入れ直す。 2) 新しい電池と交換する（→26ページ）。
	画面下部中央に“ ”というマークが出た	電池残量が充分でない。	電池を交換する（→26ページ）。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない	【ファンクションスイッチ】が[PLAY]の位置になっている。	[REC]の位置に合わせる。
	ｾﾙﾌﾀｲﾏｰ撮影の途中で電源が切れた	電池が消耗している。	電池を新しいものと交換する（→26ページ）。
	画面下部中央に“●”というマークが出た	露出過多である。	【絞り切替スイッチ】を[●]（上）の位置に合わせる（→39ページ）。
	画面下部中央に“○”というマークが出た	露出不足である。	【絞り切替スイッチ】を[○]（下）の位置に合わせる（→39ページ）。

	現象	考えられる原因	対処
撮影について	液晶画面に表示される映像のピントがあまい	【標準／接写切替スイッチ】の位置が正しくない。	風景や人物撮影時は[NORMAL]に、接写時には[MACRO]の位置に合わせる（→37ページ）。
	室内での撮影時に、画面の色や明るさが変化する	室内照明が蛍光灯である。	白熱電球など蛍光灯以外の照明を使う（→34ページ）。
	撮影した画像が緑色になっている	強い光、またはその反射光を撮影した。	これは、受光部の特性によるもので故障ではありません。【絞り切替スイッチ】を［●］（上）の位置に合わせて撮影すると低減されます。
再生について	再生した画像の色が、撮影時に画面で見た色と違う	1) 太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。 2) 撮影時と再生時では表示画像の輝度などが異なります（→40ページ）。	1) 直接光がレンズに当たらないようにしてください。 2) 多少の差は生じますのであらかじめご了承ください。
	マルチ画面表示で【＋】／【－】ボタンが効かない	画面が停止した状態でないと、【＋】／【－】ボタンは効きません。	画面の停止中に【＋】／【－】ボタンを押してください。

	現象	考えられる原因	対処
再生について	オートプレイしたときに、すべてのページが表示されない	非表示モードになっている。	非表示モードを解除する（→59ページ）。
	テレビにつないでもテレビの画面に本機の液晶画面の表示内容が出ない	1)【ファンクションスイッチ】が[REC]の位置になっている。 2) 本機とテレビを正しく接続していない。 3) テレビ側の設定が合っていない。	1) [PLAY]の位置に合わせる。 2) 付属の専用ビデオコードを使って、正しく接続する（→45ページ）。 3) テレビ側の設定を合わせる。テレビに付属の取扱説明書をご参照ください。
	撮影した一部の画像が表示されない	非表示モードになっている。	【－】＋【電源スイッチ】を同時に押して全画面モードにしてください。
	マルチ画面表示されない	非表示モードになっている。	【－】＋【電源スイッチ】を同時に押して全画面モードにしてください。
	プロテクトがかけられない	非表示モードになっている。	【－】＋【電源スイッチ】を同時に押して全画面モードにしてください。
	ALL DATA IS PROTECTED!画面のままで、画像表示しない	すべての画像にプロテクトがかかっており、非表示モードになっている。	【－】＋【電源スイッチ】を同時に押して全画面モードにしてください。

	現象	考えられる原因	対処
削除について	【DEL】を押しても削除指定画面に移動できない	1) 記録されているすべてのページにプロテクトがかかっている。 2) マルチ画面表示（→47ページ）またはクローズアップ（→50ページ）表示になっている。	1) 消去したいページのプロテクトを解除する（→57ページ）。 2) 通常の1画面表示にする。
その他	【MODE】を押しても画像変換画面に入らない	画像変換可能な画像がない。	
	すべてのボタン、スイッチがきかない	静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから、再度操作してみてください。
	液晶画面が極端に明るい、または暗い	【ブライトボリューム】の位置がずれている。	【ブライトボリューム】を調節する（→18ページ）。
	カメラtoカメラの通信モードに入れない	1) ケーブルが接続されていない。 2) 相手側のカメラの電源が入っていない。 3)【ファンクションスイッチ】が[REC]の位置になっている。	1) ケーブルを接続し直してください。 2) ケーブルを接続してから電源を入れてください。 3) [PLAY]モードでやり直してください。

	現象	考えられる原因	対処
その他	通信ができない（通信エラーになる）	1) 本体側が[MEMORY EMPTY]で送信を選択した。 2) 本体側が[MEMORY FULL]で受信を選択した。 3) 相手側が[MEMORY FULL]で送信を選択した。 4) 相手側が[MEMORY EMPTY]で受信を選択した。 5) 相手側の【ファンクションスイッチ】が[REC]の位置になっている。 6) 本体側が[ALL DATA IS PROTECTED!]で送信を選択した。 7) “  ”が表示されている。 8) 通信中にケーブルがはずれた。	メモリーを調整してから操作してください。 5) 相手側の【ファンクションスイッチ】を[PLAY]の位置にしてください。 6) 本体側を全画面表示モードにしてください。 7) 新しい電池に入れ替えるか、ACアダプターを接続して行なってください。 8) ケーブルをきちんと接続してください。
	相手側のキーがロックしてしまう	通信状態中は、相手側の操作はできません。	本体側で[EXIT]を選択し、通信状態を解除してください。

■画面に表示されるメッセージ

ALL DATA IS PROTECTED	非表示モードですべての画像にプロテクトが設定されているときに表示されます。
ERROR	通信にてERRORがあったときに表示されます。もう一度ケーブルの接続や、カメラのモードを確認してから行なってください。
MEMORY FULL	撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行ないたい場合は、一度削除または、画像変換の操作を行なう必要があります（→60、65ページ）。
MEMORY EMPTY	まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて削除して本機に画像が１枚もない状態では、画面にこのように表示されます。
MEMORY ERROR #1 ~ #3 CONSULT THE OWNER'S MANUAL	本機の内蔵のメモリーに異常が発生した場合に表示されます。この表示が出た場合は、最寄りのカシオサービスセンターにご連絡ください（→91ページ）。
REMAIN	FINEモードでの撮影可能枚数を使い切りました。【MODE】ボタンを押してNORMALモードに切り替えるか、一度削除の操作または、画像変換の操作を行なう必要があります（→60、65ページ）。

主な仕様／別売品

■主な仕様

記録方式…………デジタル記録（ＪＰＥＧベース）
信号方式…………ＮＴＳＣ方式
記録媒体…………内蔵メモリー（３２Mbitフラッシュメモリー）
記録コマ数………ＦＩＮＥ（精細）６４枚（約４８０Kbit圧縮画像）
ＮＯＲＭＡＬ（標準）１９２枚（約１６０Kbit圧縮画像）
消去………………１画面単位、全画面一括消去可能（メモリープロテクト機能付き）
撮像素子…………1/４インチＣＣＤ（総画素数：３６万画素）
レンズ……………固定焦点式マクロポジション付き
Ｆ2.8　ｆ＝４.２mm
絞り………………Ｆ2.8、Ｆ８マニュアル切替え式
撮影可能距離……Ｆ2.8…標準；0.5m～∞、接写；14cm～18cm／Ｆ８…標準；0.3m～∞、接写；11cm～27cm(レンズ保護フィルター表面より)
測光方式…………撮像素子によるＴＴＬ中央重点測光
露出制御方式……絞り優先ＡＥ
測光連動範囲……ＥＶ＋５～１８
露出補正…………－２ＥＶ～＋２ＥＶ
シャッター形式…電子シャッター
シャッタースピード……1/８～1/４０００秒
ホワイトバランス……自動
セルフタイマー……作動時間１０秒
画質選択…………ＦＩＮＥ（精細）、ＮＯＲＭＡＬ（標準）
モニター…………モニター画素数 ：61,380画素
ファインダー兼用1.８型ＴＦＴ低反射カラー液晶
パソコン出力画素構成…ＦＩＮＥ（精細）４８０Ｘ６４０dots
ＮＯＲＭＡＬ（標準）２４０Ｘ３２０dots
入出力端子………デジタル端子、ビデオ出力端子、外部電源端子
電源………………乾電池×４（単３型アルカリ電池および、リチウム電池）／ＡＣアダプター（AD-C60/AD-C61）

電池寿命

使 用 電 池	単３型アルカリ電池　LR6	単３型リチウム電池　FR6
連続再生時	約150分	約240分
連続撮影時	約96枚撮影可能（1分間に1枚撮影した場合）	約180枚撮影可能（1分間に1枚撮影した場合）

LR6は松下電池工業(株)製 使用時、FR6は富士写真フィルム(株)製 使用時の目安です。
※ 電池寿命はメーカーによって異なります。

サイズ……………幅１３９mm×高さ６６mm×奥行き４０mm
質量………………約１８０ｇ（電池含まず）
付属品……………ハンドストラップ、ソフトケース、専用ビデオコード、アルカリ電池（LR6×４本）、クロス、取扱説明書（保証書付き）

- 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

■別売品

- ACアダプター　AD-C61　　※AD-C60にも対応しています。
- パソコンリンクソフト
  Windows版 LS-1W
  Macintosh版 LS-2M
- パソコンリンクケーブル
  PC-9801/9821シリーズ用 QC-1N
  IBM PC/AT互換機用 QC-1D
  Macintosh 用 QC-2M
- QVカラープリンター　QG-100
- データ転送ケーブル　SB-62（デジタルカメラ用）
- 通信用ケーブル　SB-600（ワープロ用）
- フロッピーディスクドライブ　FD-10v

蛍光管について

- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオサービスセンターまでご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、一日２時間のご使用で約６年間です。
- 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

保証とアフターサービスについて

■保証書はよくお読みください。

保証期間は、お買上げ日から1年間です。保証書（本書に刷り込まれています）は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■修理を依頼されるときは

まず、本書の「故障とお思いになる前に」にしたがって調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

- 保証期間中は

  保証書の規定にしたがってお買上げの販売店またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。

- 保証期間が過ぎているときは

  お買上げの販売店またはカシオサービスセンターへご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■あらかじめご了承いただきたいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。また、特別注文された商品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオサービスセンターにご依頼ください。

＊ 補修用性能部品の最低保有期間は製造終了後８年です。

保証規定

1. **取扱説明書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理いたします。**
2. **修理の必要が生じた場合は、製品と本書をお買い上げの販売店またはカシオサービスセンターまで、ご持参またはご送付ください。**
3. **修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。**
4. **保証期間内でも次の場合は有料修理となります。**
   イ. お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷
   ロ. 誤用、乱用および取り扱い不注意による故障・損傷
   ハ. 不当な修理または改造による故障・損傷
   ニ. 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
   ホ. 火災、地震、水害、その他の天災地変および異常電圧による故障・損傷
   ヘ. 消耗品（電池など）および付属品のお取り替えの場合
   ト. 電池の液漏れによる故障
   チ. 本書の提示がない場合および字句を書き換えられた場合
5. **本書は日本国内においてのみ有効です。**
6. **本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。**
7. **修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。**

※ この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにお問い合わせください。

サービスセンター一覧

北海道

札幌 ☎011-842-1231
〒003　札幌市白石区菊水五条1-19-5

東北

仙台 ☎022-256-8822
〒980　仙台市宮城野区榴岡5-1-35

盛岡 ☎0196-46-3393
〒020-01　盛岡市上堂2-3-6

関東

水戸 ☎029-225-6985
〒310　水戸市城南3-10-17

宇都宮 ☎028-623-5588
〒320　宇都宮市戸祭町3009-8

高崎 ☎0273-23-1511
〒370　高崎市新町67-1

埼玉 ☎048-666-8567
〒331　大宮市大成町4-83

千葉 ☎043-243-1087
〒260　千葉市中央区神明町13-4

東京 ☎03-5294-7011
〒101　千代田区外神田2-2-18

秋葉原 ☎03-5820-9871
〒101　千代田区神田佐久間町2-15

多摩 ☎0425-23-3990
〒190　立川市曙町1-22-17

横浜 ☎045-211-0811
〒231　横浜市中区南仲通3-26

信越

信越 ☎025-287-1151
〒950　新潟市弁天橋通り3-9-12

北陸

金沢 ☎0762-24-0061
〒920　金沢市南新保町ト52

東海

静岡 ☎054-281-8085
〒422　静岡市津島町16-23

名古屋 ☎052-263-0454
〒460　名古屋市中区栄4-6-15

近畿

京都 ☎075-351-1161
〒600　京都市下京区五条通り堀川東入ル

大阪 ☎06-352-7111
〒530　大阪市北区天神橋6-3-16

神戸 ☎078-392-2145
〒650　神戸市中央区伊藤町119

中国

岡山 ☎086-244-3404
〒700　岡山市西古松西町9-1

広島 ☎082-230-5900
〒733　広島市西区大芝2-14-10

四国

高松 ☎0878-62-5240
〒760　高松市今里町2-21

九州

福岡 ☎092-411-2939
〒812　福岡市博多区東比恵2-16-23

熊本 ☎096-367-0614
〒862　熊本市健軍1-38-7

鹿児島 ☎099-256-3573
〒890　鹿児島市郡元1-1-3

※住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承下さい。

P

カシオ保証書

持込修理

This warranty is valid only in Japan.

本書は、本書記載内容により無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上、お買上げの販売店またはカシオサービスセンターに修理をご依頼ください。

★ご販売店へ
この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ずご記入の上お客様にお渡しください。

品名		デジタルカメラ
機種名		QV-100
保証期間		お買上げ日より本体１年間
		お買上げ日　年　月　日
お客様	お名前	様
	ご住所	〒　-
	電話	-　-
販売店	住所・店名	
	電話	

カシオ計算機株式会社
〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2　☎03-5334-4111（代表）

MA9803-006008H　Printed in Japan